

“未来をつむぐ 「明日の京都」ビジョン あなたとつなぐ 府民交流会”

平成22年に計画期間満了を迎える「新府総（新京都府総合計画）」等の後継となる「明日の京都」ビジョン等の検討に際し、府民の皆さまのご提案やご意見をお聞かせいただくため、府内各地で「明日の京都」ビジョン 府民交流会を開催しています。

◆テ ー マ 京都府の未来、地域の未来に期待すること、京都府政に望むこと

◆開催日程

開催地	月 日	曜日	時 間	会 場	参加者
中 丹	7月19日	日	15:00~17:00	舞鶴市政記念館（舞鶴市）	250人
丹 後	7月20日	月・祝	14:00~16:00	みやづ歴史の館（宮津市）	250人
南 丹	7月25日	土	15:00~17:00	ガレリアかめおか（亀岡市）	280人
山 城	7月26日	日	14:00~16:00	パルティール京都（宇治市）	350人
京都市内	9月 6日	日	13:00~15:00	京都テルサ（京都市南区）	200人

◆ 出席者 知 事、市町村長、「明日の京都」ビジョン懇話会委員 他

◆ 御出席いただいたビジョン懇話会委員・条例検討委員会委員

開催地	ビジョン懇話会委員	条例検討委員会委員
中 丹	新宮 七郎 委員	佐藤 満 委員
丹 後	今井 雄一 委員	高木 光 座長
南 丹	竹葉 剛 座長	高木 光 座長
山 城	竹葉 剛 座長	土山 希美枝 委員
京都市	竹葉 剛 ビジョン懇話会座長 高木 光 条例検討委員会座長 (安全・基盤部会部会長) 畑 正高 文化・環境部会部会長 植田 和弘 産業・労働部会部会長 山岸 久一 福祉・医療部会部会長 西岡 正子 教育・学習部会 部会長	

※ 10月11日（日）にも、京都商工会議所で、池坊美佳委員、ジェフ・バーグランド委員、村井杏侑美委員にご出席いただき、京都市長、京都商工会議所会頭、京都新聞社社長等のパネルトークを開催。

# 府民交流会アンケート集計表

## ★地域の強みは何か

	丹後地域		中丹地域		南丹地域		山城地域	
第1位	自然に恵まれていること	73.2%	自然に恵まれていること	41.1%	自然に恵まれていること	53.2%	自然に恵まれていること	42.1%
第2位	食べ物がおいしいこと	17.1%	食べ物がおいしいこと	14.3%	大都市に近くて便利なこと	15.2%	自然と都会のバランスがいいこと	12.3%
第3位	人柄がよいこと	4.9%	人柄がよいこと	12.5%	自然と都会のバランスがいいこと	6.3%	歴史文化があること	12.3%
第4位	のんびりした土地柄	2.4%	のんびりした土地柄	7.1%	歴史文化があること	6.3%	大都市に近くて便利なこと	10.5%
第5位	田舎であること	2.4%	歴史文化があること	7.1%	農業が盛んなこと	6.3%	住みやすいところ	5.3%
その他		0.0%	多様な資源、活発な女性、地理的条件、舞鶴港	17.9%	住みやすさ、おいしい水、人と人とのつながり、災害の少なさ	12.7%	地場産業・特産品、多様な地域資源、行政の身近さ	17.5%

## ★地域の弱みは何か

	丹後地域		中丹地域		南丹地域		山城地域	
第1位	交通の便が悪いこと	36.7%	交通の便が悪いこと	21.7%	交通の便が悪いこと	39.2%	交通の便が悪いこと	41.9%
第2位	人や地域が閉鎖的なこと	20.0%	人や地域が閉鎖的なこと	17.4%	住民の参画協働意識が少ないこと	13.7%	環境破壊が進んでいること	16.1%
第3位	若者の働く場がないこと	13.3%	若者の働く場がないこと	8.7%	都市計画がよくないこと	9.8%	住民の公共心やマナーが悪いこと	12.9%
第4位	若者が流出すること	10.0%	若者が流出すること	8.7%	都市部と山間部に格差があること	7.8%	地域間に格差と分断があること	9.7%
第5位	高齢化が進んでいること	3.3%	有害鳥獣被害が多いこと	6.5%	文化施設等が不足していること	7.8%	市町村合併が進まないこと	6.5%
その他	農地・里山の荒廃、医療問題、都市との地域格差	20.0%	大学教育、過疎化、農地の荒廃、人口減少、水害リスク	37.0%	魅力の不足、働く場、地域連携の不足、教育機能不足、農業振興不足	21.6%	都市計画不足、文化・交流拠点不足、伝統文化の軽視、住環境	12.9%

- ・ 地域の強み(自然に恵まれていること)、弱み(交通の便が悪いこと)とも、第1位はすべての地域で同じ項目。
- ・ 丹後、中丹地域は、強み、弱みとも第4位まで同じ項目。
- ・ 中丹・丹後と南丹・山城では、2位以下の項目で大きく異なる。
- ・ 丹後の強みとして「自然に恵まれていること」を1位のあげた人の割合が3/4にのぼり、他の項目と突出して多い。

★どんな社会でありたいか(求める社会像)

	丹後地域		中丹地域		南丹地域		山城地域	
第1位	地域コミュニティのある社会	28.6%	働く場がたくさんある社会	17.0%	地域コミュニティのある社会	26.8%	自然環境に恵まれ都市化とバランスのとれたまち	29.4%
第2位	教育の先進地である社会	19.0%	お年寄りや子供が安心して暮らせる社会	14.9%	自然環境に恵まれ都市化とバランスのとれたまち	17.9%	安心・安全な街づくり	20.6%
第3位	働く場がたくさんある社会	14.3%	地域コミュニティのある社会	14.9%	安心・安全な社会	17.9%	地域コミュニティのある社会	11.8%
第4位	お年寄りや子供が安心して暮らせる社会	14.3%	3市の一体感がある社会	10.6%	生活の利便性の高い社会	10.7%	広域交流の盛んな社会	8.8%
第5位	住んでよし訪れてよしの社会	9.5%	自然環境に恵まれた社会	10.6%	働く場の豊富な街	7.1%	個性と活力ある社会	8.8%
その他	自然環境保全、自給自足の町、お金以外の豊かさを感じる街	14.3%	人の定着、医療・福祉の充実、地元産品の活用	31.9%	活力ある街、若者が夢を持てる街、災害に強い、健康長寿、人材の育成	19.6%	マナーのよい社会、医療・福祉の充実、所得格差の是正	20.6%

★行政に望むことは何か

	丹後地域		中丹地域		南丹地域		山城地域	
第1位	観光の推進	30.0%	交通網の整備	29.0%	交通網の整備	24.0%	地域住民との対話	14.7%
第2位	交通網の整備	20.0%	農業・農村の整備	16.1%	福祉・医療の整備	16.0%	自然環境の保全	8.8%
第3位	自然環境の保全	20.0%	地域力の再生	9.7%	地方分権・住民自治の推進	16.0%	子育て支援	8.8%
第4位	府域の均衡ある発展	10.0%	地域住民との対話	9.7%	地域住民との対話	12.0%	市町村合併の促進	8.8%
第5位	医療の整備	10.0%	産業振興・雇用創出	6.5%	多様性を活かした地域整備	12.0%	交通網の整備	5.9%
その他		10.0%	若年者の行政参画、人材育成、行政の広域連携、NPO支援	29.0%	地域のサポーターづくり、地域での子育て、子供の支援	20.0%	農林業振興、住みやすい街、老人施設整備、NPOの連携強化、若年者の就業支援、行政(意識)改革	52.9%

- ・ 求める社会像として、「地域コミュニティのある社会」をあげた人が各地域とも多い。
- ・ 高齢者や子供も含め、安心・安全な社会を求める人が多い。
- ・ 行政に望むことは、地域の弱みに対応して、全地域とも「交通網の整備」を求めている。
- ・ 求める社会像が各地域とも似通っているのに対し、行政に望むことは多種多様にわたる。

## 「明日の京都」ビジョン府民交流会inテルサ 参加者アンケート集計

	京都府の良いところや好きなところはどんなところですか？	京都府の良くないところや課題はどんなところにあると思いますか？	将来、京都府は、どのような社会であってほしいと思いますか？	その他、京都府に対する御意見、ご要望等がありましたらご記入下さい。	男	女	居住地	年齢
1	自然が豊か(南部から北部まで)。伝統と文化。人が親切。	少しの雨量ですが、山崩等が起こり、道路が通行止めになり迂回する道路もない。林業を大切に(治山、治水対策に重点を)	若い人たちが住める町。若い人たちが働ける町。	道州制は反対(特に大阪とは)→伝統や文化が違いすぎる	1		京都市	6
2	歴史。文化。学生が多い。なんとなく風土が好き。	活気がない。学生という大きな財産を充分な活用ができていない。	京都らしい京都であってほしい。	京都府の職員が何をしているのかわからないという声をよく聞く。もっと地域の核となって、時間外に入っていく必要を強く思う。	1			4
3	いろんな会合の中でいわれていることが、少しでも実現できたらすばらしい京都になるのではないのでしょうか。		京都府といわず、安全安心して暮らせる社会であってほしい。			1	南丹	6
4		閉鎖性(これはある意味で京都府のよいところとなります)	京都府だけで、関西は成り立ちません。他府県との協同が必要です。何でも京都府はないでしょう。府県としての、(キザな言葉ですが)、ノブリス・オブリュージュさ、自然を示せることでしよう。	5つのビジョン「人間中心」で“信頼”をとりあげているのは、すばらしいことです。信頼の前提として、“個の尊重”…人の尊厳を意識することではないのでしょうか。	1		京都市	6
5	名所・旧跡の多いところ。	行政機構が旧態依然としたところ。知事の気持ち感が末端まで届いていない。	老人家族に対する地方税の減免を進めるべき。税は治山、治水、治安にしほるべき。そんな社会を望む。		1		京都市	6
6	他府県より京都におみえ方が京都大好き。		国際会議開催を京都にもっと増やす努力をお願いします。		1		京都市	6
7	歴史に基づいた景観があること。新しいものへの挑戦が常に感じられること(時代に迎合しない)	市内の道路事情が悪い。伝統文化を根気よく守ることが課題。	歴史、伝統、文化を大切にす都市。日本の学問の中心になること。世界各国(米国や英国、アジア諸国など)から、京都の高校、大学へ留学生がたくさん来るようになること。	京都独自の都市をつくること(歴史、文化、科学などを中心として)。いたずらに工業都市にならないこと(交通不便でもよい)。公害のない美しい街となること。	1		向日市	7
8			誰もが隣人に対し、遠慮せずに、注意ができるような社会にしてほしい。近鉄の久保～新田辺間においてカツアゲをする人間がいるようです。高校生、中学生で噂になっております。一度調査をお願いします。部活帰りに狙われているようです。	京都市だけでなく、府北部、南部の地域が活性化することを考えてほしい。そのためには、地域にある宝を残すことが重要であり、そのための観光ルート(高速道路建設を含め)を張り巡らすことだと思います。地方が活性化してくると、医者も市内だけでなく地方に駐在していただくことも可能だと思います。また、そのような医者の方々に対し、税等の優遇をするのはいかがでしょうか。遠隔医療、個人カルテの共有ができて、地方にすばらしい医者がいないと意味がありません。高齢社会に対し、府全体にお年寄りが休憩できる椅子をたくさん設置してほしい。駅内を含め、道路沿い、ショッピングセンター内にも、そのような規定等を作ってほしい。	1		京田辺	4

# 「明日の京都」ビジョン府民交流会inテルサ 参加者アンケート集計

	京都府の良いところや好きなところはどんなところですか？	京都府の良くないところや課題はどんなところにあると思いますか？	将来、京都府は、どのような社会であってほしいと思いますか？	その他、京都府に対する御意見、ご要望等がありましたらご記入下さい。	男	女	居住地	年齢
9	京都は日本の都として1200年の歴史があり、他府県の人々からあこがれの地、一度行ってみたい地として非常に高く評価されている。また、長年にわたり住んでいるものから見ると、安らぎを感じる街である。今後とも大事にしていきたい。	日本の国における官僚問題が京都においても存在を感じる。トップと幹部、幹部と職員・中間管理職が一本化されていない。府民の声がスムーズにトップにまで伝わる風通しのよい組織への改革が必要。	京都議定書発行の土地、日本文化の都としての京都の立場から、日本における「環境」「文化」の中心、リーダーとして模範となる社会、街、町にならなければならない。	京都市と二人三脚体制で取り組んでほしい。何事にも府・市がバラバラのように感じる。広報力の強化を！（京都府のPRが何事も下手です）	1		京都市	5
10	山田知事はじめ、幹部の方のおおらかなところ。	課長クラス以下はチマチマしていますね。課長クラスの方で自分の仕事が良く分かっている方とない方が極端ですね。特に分からない方に課の管轄の仕事の問題点を申し上げても聞かれない状態です。	中心市の伝統、まわりの自然とバランスがとれていれば良いですね。	京都は文化、自然の中心地としての位置をきっちりと維持してほしい。	1		京都市	6
11	社寺仏閣が多いところがよい。それが好きなところでもある。	11に頼っており、積極的な人集めをしない。京都に落ちるお金は観光産業に対してのみである。貧富の差がはなはだしい。	京都市内における景観条例を景気が回復するまで中断させ、京都らしき町並を作るため町家建設をどんどん進めるべきである。	京都市内をモノレールで移動できるよう、モノレールの駅にはレンタサイクルの店を置き、放置自転車をなくし、自動車通勤もなくすべきである。	1		京都市	5
12	わび、さびの心を持っているところ。「奥ゆかしさ」が京都らしさ。常は、お節介ではなく、困っている人に親身になって手助けをする京都人。	押しつけ行政。		総括コメントを聞いて思ったこと。押しつけの観光では、また来たくなる京都にはならない気がします。もてなしの心が、来ていただく人に、つたわる観光プランを孝えていただきたい。	1		京都市	5
13	山田知事が頑張っておられるところ。	職員の頭が固いところ。	子どもを育てる全ての人々に社会全体で支える社会自体が必要です。20年後にはあのとき子どものことをしておけば良かったと思う時代になる。	意見を言う時間なし。残念です。	1		宇治市	6
14	歴史、文化、自然。日本のあらゆる要素が凝縮されているところ。古さと新しさを愛するところ。	地域格差。市町村をまたぐ広域的なところにリーダーシップが発揮できていない。各現場から心理的に遠い。府立病院の子ども病棟の保育士の数を充実する（知り合いが3歳で今年なくなりました。その両親の切なる願い。大阪は充実しているようです）	ビジョン（理念）と各現場の往復活動と異業種への積極的な関心に基づくネットワークが戦略的に展開される風土がある。（ソーシャル）インクルージョンの理念に基づく風土づくり。誰もが自己肯定感を持ち、「おおらかとうるおい」相互に必要とされる社会。「真実の人間と真実の京都」	リアリティに満ちた体験学習。EX)左官業界の方の意見にあった土壁の住まいづくりは、子どもの教育の場である。都心部と過疎地の交流学習。その他農業など食育関連。府下の観光地は歴史上人物を追跡する「京都に住みながら、京都を知らない」。人間の本ものを見たいし、観光したい。本ものに支援をする。	1		宇治市	5
15	おだやかな京都弁。地域・町内間のつながりが強い点。	（山城北）保健所の対応。①新型インフルエンザに対する対応が遅い（A型が多発していたにも関わらず、検査してもらえなかった）②頭ジラミの現物を持って行っても「わからない」と言われた。京都市内の保健所に持っていくと、すぐに調べてもらえた。	社会貢献をしたいという夢を持てる子ども達が育つ社会。道徳的価値が重んじられる社会。まじめに働いてきた人々がきちんと認められ、安心して年をとれる社会。自然との共存。自給自足。			1 京都市	5	

## 「明日の京都」ビジョン府民交流会inテルサ 参加者アンケート集計

	京都府の良いところや好きなおところはどこですか？	京都府の良くないところや課題はどんなところにあると思いますか？	将来、京都府は、どのような社会であってほしいと思いますか？	その他、京都府に対する御意見、ご要望等がありましたらご記入下さい。	男	女	居住地	年齢
16	街が綺麗なおところ。歴史の街、京都市を中心に、皆京都府、我が町を良くしようとする人間性の方々が多いような気がします。子どもの頃からの教育や伝統的な育成環境等からの影響は大きいと思います。	新しいことへの挑戦などはわりと保守的である気がします。うまく新旧が融合できると良いと思います。	安心して住めるおところ。			1		4
17	現在の所、南部(特に京都市)では、災害が少ない。府・市と行政が活発に交流されていて、私たちには大変心強い。				1		京都市	6
18	古い神社、仏閣がある。		子どもたちが京都で育って良かったと言えるような社会。			1	京田辺市	5
19	古いものや自然が大切にされている点。	地域的な閉鎖性(地域ボスなど)。	弱者に優しく、笑顔にあふれた社会。		1		京都市	4
20	奥の深さ	斬新性に欠ける。南部を高層ビルやモノレール等、先進的な街に変える必要性を感じる。			1		京都市	4
21	伝統。和の心。知の集積。「きょうと」という名の響き。	閉鎖性。「いけず」の印象。インフラの不足。	日本の伝統を失わない京都。「社会的弱者」と言われる人のいない京都。地域の人と人がしっかりとつながり、自主・自立の地域づくりと、変わる京都。(450の小学校に必ず1つは地域交流拠点があり、自由に人が出入りできる社会)		1			5
22	イメージが良いおところ。	イメージと違う点もあるおところ。	自然。人に優しい。		1		宇治市	5
23	地形的に東西に長い関係上、海あり、田畑あり、そして街あり、と自然と工業、商業が混在したところが好きです。	自然に恵まれているにもかかわらず、担い手が少なくなって来ているのに危惧する。特に森林の手入れ、海(漁業)の担い手不足により、自然が破壊されつつある。	若い方の居場所、労働場所を確保し、活気のある場所と子育てに不安を起こさせない京都府であってほしい。文化を大切にしたい。	無駄を除く予算、ガラス張りの府政、正しい医療体制、学力向上、大阪府 橋下知事のような白黒はっきりしたやり方。		1	長岡京市	6
24	自然がまだ沢山残っていること。歴史と伝統があるおところ。	障害のある方の施設で働いていますが、重い障害のある方の親亡き後の地域での暮らしは切実な課題です。多くのご家族さん、ご本人さんが不安を抱えておられます。	誰もがその人らしく、安心して暮らせる社会、支え合い、分かち合える社会、のために私も努力したいと思います。	本日は本当にありがとうございました。			京都市	4
25	北部の自然、都市部中心の歴史、文化が手に入れることができ、豊かに生活ができるおところ。	交通のあり方、自転車道を作っていないおところ。ドイツのように歩道、自転車道、車道を勉強不足なおところ。	伝統産業を特に見直していただき、職人の方々のいきいきとした顔が見られる社会。	府、市とががみ合った行政のあり方を希望いたします。		1	京都市	6
26	「どちらにお住まいですか」と尋ねられて、自信を持って「京都です」と答えています。海、山、川と自然に恵まれているところが好きです。	自然を保つことはとても困難なことと思いますが、着実に実行してほしいです。	言葉だけでなく、「健やかに老いる、死ねる」社会であってほしい。	行政の計画は形式的なものが多いと感じます。現実的な方向性を示してください。		1	宇治市	6

## 「明日の京都」ビジョン府民交流会inテルサ 参加者アンケート集計

	京都府の良いところや好きなところはどんなところですか？	京都府の良くないところや課題はどんなところにあると思いますか？	将来、京都府は、どのような社会であってほしいと思いますか？	その他、京都府に対する御意見、ご要望等がありましたらご記入下さい。	男	女	居住地	年齢
27	新しいことを早く取り入れること。世界に誇れる文化遺産が多いこと。		世界の地球の京都		1		京都市	5
28	府民及び中小工業者等、様々な視点で支援システムをとっておられるところ。	京都市内、山城地域、丹波、中丹、丹後地域のネットワークづくりと活用。市町村との連携。	地域住民、専門家の活用したシステムづくり。	府民がわかりやすい広報PR。	1		京都市	6
29	歴史ある寺、神社、京野菜等もすばらしいと思います。	車の渋滞、医療の専門病院、子ども救急など。	現保育所の保護者で精神病等もっており、保育所に子どもを預けている親のサポートが少ないように思っています。国の宝である子ども達をしっかりと育てていくためにも親のサポートを保健師等行政も絡んでおりますが、見守りがほとんどで、子どもを預かる保育所がほとんどを担うことになっています。しかし保育所の現場では本当に無理です。もっとそんなサポートをしていけるソーシャルワークを各保育所においてください。せめてそんな親子を持つ保育所に何か考えてください。	社会を考えて先を見つめるなら、社会と言われる第1番の保育所、園にもう少しポイントを置き、これから育つ子ども達の全ての教育を考え方を育てるために、どの都道府県にもない政策を思い切りチェンジやってみませんか？①食の安全を守るためのもの②子どもを守るためのもの③精神病等の悩む方を守るためのもの。いろいろありますが農業と①～③と一緒に事業を行ってほしいです。		1	精華町	4
30	豊かな文化をもっている。	新しいことへの取り組みに積極性を欠く。	地域共同体を大切にしていく社会。	行政的な施策や取り組みがバラバラで、全体としての力にうけとめる力が弱いのではないかと。プランづくりに参加しているが、たこつぼの中に入っていて、他とのつながりが見えにくい。(今回の会でいろいろな取り組みが行われていることを初めて知りました)	1		京都市	7
31					1		京都市	6

## 府民交流会（9.6京都テルサ）における山田知事の発言

今お話を聞いている、今まで一つと京都府では総合計画という形で、具体的な計画を10年間で盛り込んで、それによってこういう世界を作り上げますよ、という形でやってきた訳ですね。しかしそういうことでは変化についていけないだろうということで、行政をやってきて「変えていかなければならないところ」がたくさんある。と同時に「変えてはいけないところ」がある。そのあたりを意識した時に、つまり、今までの行政の積み上げ方式では、今の世の中に対応していけるんだらうかと強く感じました。

具体的な例を挙げますと、今、地球温暖化が大変な問題になってきている。防止するためには、50年先には70%CO2削減しないと維持できない事態になっている。でも、具体的に考えていったら、不可能という結論にしかならない。だから、年次計画で10年先、25年先に、25%、40%なんて、議論していったら、今、世界中まとまらない話になっている。

その時に、意見が2つある。ひとつは、そうはいつでも、将来もしかしたら科学技術の発達で可能になるかもしれないんだから、70%削減しなければならないんだから、あきらめずに、とにかくできることを積み重ねていこうじゃないかというタイプの人。もうひとつは、CO2については、世界の問題のワンオブゼムなんだから、全体でバランスをとりながら進めていくうちに、解決策がでてくるんじゃないかというタイプの人

この中で、実は、この2つともひとつ忘れてるのは、私たちが解決していかなければならない時に、科学技術やバランスの問題うんぬんよりも、私たちの「生き方」とかこれからの将来の「考え方」を本当は議論しなければならない。そんな時、数字を議論して、そんなこと言ってもやれるだけやるしかない派か、そんなこと言ってもどうしようもない派になってしまうかが本当は問題。その時に、変えなければいけないのは、環境問題に対して、私たちの「生き方」や「考え方」を、どういう立場で物事をしっかりと踏みしめていくのか。

実はこれは文化なんです。私たちの将来を考えると、昔の考え方の中、文化の中にヒントがあるんですよ。文化を考えていくことが、実は環境を守り、環境を変えていく大きなものになっていくんじゃないか。このことを抜きにして環境は環境問題、文化は文化の問題と言ってもしかたないんです。だからこそ、文化と環境は大きな連携をもって行く。このチェンジを、変化をもう一回見つめないとならばすべての解決策にはならないんじゃないか。

観光の問題もあります。まさに人に来ていただくということから、私たちは何を見ていただき、観



光していただくのか、考え方の変化をそこでしっかりやっていかなければならない。今回、それを意識したわけではないが、「京都知恵と力の博覧会」やります。横浜では「開港博」を何十億かけてパビリオンつくってやっていった。そうではなくて、私たち京都は、私たち暮らしや私たちの生き方の中のものを、しっかりと日本人に見てもらおう中で、自分たちの観光のあり方を考えていこうということを提示しております。どちらが人を集めるか、どちらが成功するかではなく、それは二の次であって、自分たちの生き方をどうやって提示できるかということが本当は一番大きいのではないかと。

福祉や医療面も、従来とはまったく違う。昔だったら病院の数を増やし、お医者さんの数を増やしと言っていたのが、「死に方」だとか、そうした点を考えていかなければ、福祉については解決策を見いだせない時代になってきている。こうした考え方の変化というものをそろそろ明確に打ち出していかなければ、府民の皆さんが方向性を踏まえた形で、その方向性に向かって進んでいくということができなんじゃないか。

教育の問題も一緒です。学力を向上して、よい学校に入っていくというひとつの価値観の時代から、それではすまない時代になってきているんじゃないか。生きる力、そして、不安の中で、みんなが励まされて。

正直言って、自分のことを考えた時に、そんなに立派ではなかった。役人になるときに、どれほどのことを考えたかと思えますし、政治家なんてかけらもなかった。みんなに励まされて生きていくという教育の大切さがでてくる。

安心・安全も同じです。昔は行政が何かやる、何かやってくれる、それをやるのが計画、われわれの総合計画だった。今は、行政と地域は何を一体としてできるだろうかということに考え方を変えなければ安心・安全の時代は生まれない。

今年はすごいんですよ。既に8月までで、犯罪の件数は1割以上減っているんですね。この10年間で10倍になった犯罪の件数が、こんどは逆に1割減っている。これは安心・安全見守り隊が地域の必然性からでてきている。これはいいことだからということで、支えているだけ。今までの行政が何かをやっていく時に始まったものではない。そこに警察が頑張って入っていった時に劇的に今犯罪の発生減少がはじまっている。警察は喜んでいて。1割減ると1年間で5千人減るんです。5千人の人が被害者から救われるんです。

実際にこういうことが起こっています。このチェンジをやっていけば、私たちが本当に守らなければならない、家庭や、地域や、社会など、守らなければならないものに対する回答がでてくるということをやっぱり意識していくのかなと、今のお話を聞いて改めて感じました。